

「この人 40」

佐藤古城 76歳 埼玉県

編集部 滑稽俳句の魅力とは？

佐 藤 斜に構える必要が無く、気軽に臨めるのが楽しいですね。
滑稽は、現代の我々の生活においてとても大切なことで、
心明るく健康に暮らす原動力たる大衆文芸と思います。

編集部 俳句における「滑稽」とは？

佐 藤 川柳は、人心に突き刺さるようなきつい言葉が多いのですが、
俳句は、柔らか味と情緒に溢れています。
俳句において、絶対に外せないものです。

編集部 滑稽句を続けていて良かったことは？

佐 藤 ①先ず、多くの「親友」が出来ました。
②生涯「退屈」を知らずに済みます。
③豊富な「知識」が身になっています。
④生きた証を「後世」に遺せます。
⑤人生これほど「健全な道楽」はありません。

編集部 滑稽句をつくるコツを教えてください。

佐 藤 滑稽味のある語彙を幅広く知ること。
詞の言い替えなどをよく研究すること。
日常の俳材を見逃さないこと。
表現や文字使いといったことにも工夫することです。

<代表句>

行く春や孫三人を目に入れる
父の日のその泣き顔ぞ日本一
鳴焼の鳴を探してゐる児かな
冬瓜と言ふ厄介を貰ひけり
初閨魔妻の機嫌を損ねけり